

## みかんの花咲く丘の歌詞

みかんの花が 咲いている	思い出の道 丘の道
はるかに見える 青い海	お船が遠く かすんでる
黒い煙を はきながら	お船は どこへ行くのでしょうか
波に揺られて 島のかげ	汽笛がぼうと 鳴りました
何時か来た丘 母さんと	一緒にながめた あの島よ
今日も一人で 見ていると	やさしい母さん 思われる

## 唐人お吉小唄

駕籠(かご)で行くのは お吉じゃないか	下田港の 春の雨
泣けば椿の 花が散る	おきの黒船 さざりでみえぬ
泣けば涙で なおみえぬ	泣くに泣かれぬ 明烏

## 金色夜叉の歌

熱海の海岸散歩する 貫一お宮の二人連れ 共に歩むも今日限り  
共に語るも今日限り  
僕が学校おわるまで 何故に宮さん待たなんだ 夫に不足が出来たのか  
さもなきゃお金が欲しいのか  
夫に不足はないけれど あなたを洋行さすがため 父母の教えに従いて  
富山(とみやま)一家に嫁(か)しず)かん